

# 令和6年10月末 業種別死傷災害発生状況

鹿児島労働局

業種別死傷災害発生状況									
業種	年	令和6年 (10月末)		令和5年 (同月末)		対前年			
						増減数		増減率	
		死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
<b>全産業</b>		<b>1,648</b>	<b>15</b>	<b>1,683</b>	<b>12</b>	<b>-35</b>	<b>3</b>	<b>-2.1%</b>	<b>25.0%</b>
<b>1 製造業</b>		<b>289</b>	<b>4</b>	<b>341</b>	<b>3</b>	<b>-52</b>	<b>1</b>	<b>-15.2%</b>	<b>33.3%</b>
1 食料品製造業		188	3	196	2	-8	1	-4.1%	50.0%
4 木材・木製品製造業		18		15		3		20.0%	
9 窯業土石製品製造業		12	1	19		-7	1	-36.8%	
11～12 金属製品製造業		16		24		-8		-33.3%	
13～15 機械機具製造業		27		34		-7		-20.6%	
上記以外の製造業		28		53	1	-25	-1	-47.2%	-100.0%
<b>2 鉱業</b>		<b>1</b>		<b>9</b>		<b>-8</b>		<b>-88.9%</b>	
<b>3 建設業</b>		<b>242</b>	<b>6</b>	<b>228</b>	<b>3</b>	<b>14</b>	<b>3</b>	<b>6.1%</b>	<b>100.0%</b>
1 土木工事業		89	5	84	1	5	4	6.0%	400.0%
2 建築工事業		112	1	100	1	12		12.0%	
3 その他の建設業		41		44	1	-3	-1	-6.8%	-100.0%
<b>4 運輸交通業</b>		<b>156</b>	<b>1</b>	<b>165</b>	<b>1</b>	<b>-9</b>		<b>-5.5%</b>	
1 鉄道・航空機業		1		3		-2		-66.7%	
2 道路旅客運送業		13		12		1		8.3%	
3 道路貨物運送業		142	1	150	1	-8		-5.3%	
4 その他の運輸交通業									
<b>5 貨物取扱業</b>		<b>19</b>	<b>1</b>	<b>15</b>		<b>4</b>	<b>1</b>	<b>26.7%</b>	
1 陸上貨物取扱業		7		8		-1		-12.5%	
2 港湾運送業		12	1	7		5	1	71.4%	
<b>6 農林業</b>		<b>87</b>	<b>2</b>	<b>88</b>	<b>1</b>	<b>-1</b>	<b>1</b>	<b>-1.1%</b>	<b>100.0%</b>
1 農業		46	1	51		-5	1	-9.8%	
2 林業		41	1	37	1	4		10.8%	
<b>7 畜産・水産業</b>		<b>93</b>		<b>75</b>		<b>18</b>		<b>24.0%</b>	
<b>8 商業</b>		<b>208</b>		<b>212</b>	<b>1</b>	<b>-4</b>	<b>-1</b>	<b>-1.9%</b>	<b>-100.0%</b>
1 卸売業		38		29		9		31.0%	
2 小売業		155		165	1	-10	-1	-6.1%	-100.0%
3 理美容業				1		-1		-100.0%	
4 その他の商業		15		17		-2		-11.8%	
<b>9 金融・広告業</b>		<b>12</b>		<b>14</b>		<b>-2</b>		<b>-14.3%</b>	
<b>11 通信業</b>		<b>17</b>		<b>21</b>		<b>-4</b>		<b>-19.0%</b>	
<b>12 教育・研究業</b>		<b>9</b>		<b>19</b>		<b>-10</b>		<b>-52.6%</b>	
<b>13 保健衛生業</b>		<b>278</b>		<b>279</b>		<b>-1</b>		<b>-0.4%</b>	
1 医療保健業		105		116		-11		-9.5%	
2 社会福祉施設		166		153		13		8.5%	
3 その他の保健衛生業		7		10		-3		-30.0%	
<b>14 接客娯楽業</b>		<b>91</b>		<b>78</b>	<b>1</b>	<b>13</b>	<b>-1</b>	<b>16.7%</b>	<b>-100.0%</b>
1 旅館業		23		19	1	4	-1	21.1%	-100.0%
2 飲食店		49		44		5		11.4%	
3 その他の接客娯楽業		19		15		4		26.7%	
<b>上記以外の事業</b>		<b>146</b>	<b>1</b>	<b>139</b>	<b>2</b>	<b>7</b>	<b>-1</b>	<b>5.0%</b>	<b>-50.0%</b>
10 映画・演劇業				1		-1		-100.0%	
15 清掃・と畜業		77		75		2		2.7%	
16 官公署		2		2				0.0%	
17 その他の事業		67	1	61	2	6	-1	9.8%	-50.0%
<b>陸上貨物運送事業（4-3・5-1）</b>		<b>149</b>	<b>1</b>	<b>158</b>	<b>1</b>	<b>-9</b>		<b>-5.7%</b>	
<b>第三次産業（8～17）</b>		<b>761</b>	<b>1</b>	<b>762</b>	<b>4</b>	<b>-1</b>	<b>-3</b>	<b>-0.1%</b>	<b>-75.0%</b>

- ① 死傷者数は、当月末までに発生した労働災害の被災者を翌月8日締めで集計したもの。
- ② 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込み日数が4日以上の災害によるもので、死亡者を含みます。
- ③ 死亡者数は、各労働基準監督署の調査等により把握したもので、労働者死傷病報告が未提出の場合もあります。
- ④ 下段の陸上貨物運送事業（4-3・5-1）及び第三次産業（8～17）は、別計。
- ⑤ 死傷者数、死亡者数ともに新型コロナウイルス感染症り患者を除く。

# 令和6年10月末 業種別 事故の型別・年齢別死傷災害発生状況

鹿児島労働局

事故の型別									年齢別					
業種	順位	令和6年 (10月末)	人数	割合	順位	令和5年 (同月末)	人数	割合	令和6年 (10月末)		令和5年 (同月末)		増減数 人数	
									人数	割合	人数	割合		
全産業	1	転倒	424	25.7%	1	転倒	428	25.4%	～19歳	30	1.8%	34	2.0%	-4
	2	墜落・転落	294	17.8%	2	墜落・転落	298	17.7%	20歳～29歳	181	11.0%	190	11.3%	-9
	3	動作の反動・無理な動作	248	15.0%	3	動作の反動・無理な動作	253	15.0%	30歳～39歳	215	13.0%	200	11.9%	15
	4	はさまれ・巻き込まれ	179	10.9%	4	はさまれ・巻き込まれ	149	8.9%	40歳～49歳	286	17.4%	314	18.7%	-28
	5	切れ・こすれ	112	6.8%	5	切れ・こすれ	124	7.4%	50歳～59歳	342	20.8%	391	23.2%	-49
									60歳～	594	36.0%	554	32.9%	40
製造業	1	転倒	77	26.6%	1	転倒	95	27.9%	～19歳	3	1.0%	8	2.3%	-5
	2	はさまれ・巻き込まれ	54	18.7%	2	はさまれ・巻き込まれ	58	17.0%	20歳～29歳	29	10.0%	44	12.9%	-15
	3	墜落・転落	40	13.8%	3	墜落・転落	40	11.7%	30歳～39歳	48	16.6%	50	14.7%	-2
	4	切れ・こすれ	35	12.1%	4	動作の反動・無理な動作	39	11.4%	40歳～49歳	48	16.6%	60	17.6%	-12
	5	動作の反動・無理な動作	33	11.4%	5	切れ・こすれ	37	10.9%	50歳～59歳	56	19.4%	81	23.8%	-25
									60歳～	105	36.3%	98	28.7%	7
建設業	1	墜落・転落	90	37.2%	1	墜落・転落	86	37.7%	～19歳	9	3.7%	5	2.2%	4
	2	転倒	25	10.3%	2	切れ・こすれ	24	10.5%	20歳～29歳	41	16.9%	33	14.5%	8
	3	はさまれ・巻き込まれ	24	9.9%	3	激突され	21	9.2%	30歳～39歳	31	12.8%	33	14.5%	-2
	4	切れ・こすれ	20	8.3%	4	飛来・落下	20	8.8%	40歳～49歳	34	14.0%	37	16.2%	-3
	5	飛来・落下	20	8.3%	5	転倒	18	7.9%	50歳～59歳	37	15.3%	39	17.1%	-2
									60歳～	90	37.2%	81	35.5%	9
陸上貨物 運送事業	1	墜落・転落	42	28.2%	1	墜落・転落	43	27.2%	～19歳	3	2.0%	5	3.2%	-2
	2	動作の反動・無理な動作	25	16.8%	2	転倒	27	17.1%	20歳～29歳	11	7.4%	10	6.3%	1
	3	転倒	22	14.8%	3	動作の反動・無理な動作	24	15.2%	30歳～39歳	16	10.7%	27	17.1%	-11
	4	はさまれ・巻き込まれ	18	12.1%	4	はさまれ・巻き込まれ	17	10.8%	40歳～49歳	46	30.9%	45	28.5%	1
	5	激突され	13	8.7%	5	激突	12	7.6%	50歳～59歳	39	26.2%	45	28.5%	-6
									60歳～	34	22.8%	26	16.5%	8
林業	1	激突され	10	24.4%	1	切れ・こすれ	16	43.2%	～19歳					
	2	切れ・こすれ	10	24.4%	2	墜落・転落	4	10.8%	20歳～29歳	8	19.5%	6	16.2%	2
	3	墜落・転落	4	9.8%	3	転倒	4	10.8%	30歳～39歳	6	14.6%	3	8.1%	3
	4	飛来・落下	4	9.8%	4	激突され	4	10.8%	40歳～49歳	13	31.7%	6	16.2%	7
	5	はさまれ・巻き込まれ	3	7.3%	5	飛来・落下	4	10.8%	50歳～59歳	8	19.5%	6	16.2%	2
									60歳～	6	14.6%	16	43.2%	-10
第三次 産業	1	転倒	271	35.6%	1	転倒	257	33.7%	～19歳	13	1.7%	15	2.0%	-2
	2	動作の反動・無理な動作	156	20.5%	2	動作の反動・無理な動作	160	21.0%	20歳～29歳	63	8.3%	72	9.4%	-9
	3	墜落・転落	92	12.1%	3	墜落・転落	100	13.1%	30歳～39歳	94	12.4%	64	8.4%	30
	4	交通事故（道路）	49	6.4%	4	交通事故（道路）	60	7.9%	40歳～49歳	115	15.1%	143	18.8%	-28
	5	はさまれ・巻き込まれ	39	5.1%	5	切れ・こすれ	30	3.9%	50歳～59歳	163	21.4%	185	24.3%	-22
									60歳～	313	41.1%	283	37.1%	30
小売業	1	転倒	67	43.2%	1	転倒	56	33.9%	～19歳	6	3.9%	4	2.4%	2
	2	動作の反動・無理な動作	20	12.9%	2	墜落・転落	25	15.2%	20歳～29歳	13	8.4%	16	9.7%	-3
	3	墜落・転落	19	12.3%	3	動作の反動・無理な動作	20	12.1%	30歳～39歳	18	11.6%	13	7.9%	5
	4	交通事故（道路）	14	9.0%	4	交通事故（道路）	20	12.1%	40歳～49歳	20	12.9%	28	17.0%	-8
	5	激突	9	5.8%	5	激突	11	6.7%	50歳～59歳	26	16.8%	35	21.2%	-9
									60歳～	72	46.5%	69	41.8%	3
社会福 祉施設	1	転倒	61	36.7%	1	転倒	61	39.9%	～19歳			1	0.7%	-1
	2	動作の反動・無理な動作	58	34.9%	2	動作の反動・無理な動作	52	34.0%	20歳～29歳	5	3.0%	14	9.2%	-9
	3	墜落・転落	12	7.2%	3	激突	8	5.2%	30歳～39歳	23	13.9%	10	6.5%	13
	4	激突	8	4.8%	4	墜落・転落	7	4.6%	40歳～49歳	30	18.1%	25	16.3%	5
	5	激突され	6	3.6%	5	交通事故（道路）	6	3.9%	50歳～59歳	41	24.7%	40	26.1%	1
									60歳～	67	40.4%	63	41.2%	4
飲食店	1	転倒	21	42.9%	1	転倒	11	25.0%	～19歳	4	8.2%	6	13.6%	-2
	2	切れ・こすれ	9	18.4%	2	高温・低温の物との接触	10	22.7%	20歳～29歳	8	16.3%	7	15.9%	1
	3	高温・低温の物との接触	7	14.3%	3	墜落・転落	8	18.2%	30歳～39歳	9	18.4%	3	6.8%	6
	4	動作の反動・無理な動作	4	8.2%	4	切れ・こすれ	7	15.9%	40歳～49歳	3	6.1%	8	18.2%	-5
	5	墜落・転落	2	4.1%	5	動作の反動・無理な動作	3	6.8%	50歳～59歳	8	16.3%	6	13.6%	2
									60歳～	17	34.7%	14	31.8%	3

※事故の型別について・・・上位5位までの型のみを表示しています。

※新型コロナウイルス感染症り患者を除く。

令和6年 死亡災害事例(令和6年10月末日現在)

鹿児島労働局

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
1	令和6年 1 月	食料品製造業	作業員	男	35	7年	はさまれ・巻き込まれ	コンベア	脱葉設備(サトウキビ原料についた葉や泥を落とすための設備)の排出コンベアのローラーについた泥をヘラで掻き落とす作業を行っていた被災者が、ローラーとベルトの間に左腕と頭部を巻き込まれ、窒息により死亡したものの。
2	令和6年 2 月	特定貨物自動車運送業	作業員	男	63	2ヶ月	はさまれ・巻き込まれ	トラック	クレーン付きダンプトラックに積載されたサトウキビの荷下ろし作業中、トラック荷台に残ったサトウキビを下ろすため、被災者はトラック運転者に荷台を傾けるよう指示した後、荷台後方に回り込んだところ、車体側面まで開放された荷台後方扉が自重で閉まり、トラック後部と当該扉の間に挟まれ死亡したものの。
3	令和6年 2 月	建築工事業	鉄骨工	男	71	50年	墜落・転落	建築物・構築物	車庫の新築工事現場で、被災者は屋根部分(高さ3.4m)まで組み立てられた鉄骨の塗装作業を1人で行っていた。14時20分頃、工事発注者の代表者が現場を訪れたところ、建築中の車庫内のアスファルト地面に左顔面をつけ、出血して側臥位の姿勢で倒れていた被災者を発見し、病院へ搬送されたものの、約1時間後に死亡したものの。
4	令和6年 2 月	土木工事業	作業員	男	56	2年	激突され	トラック	事務所前に駐車した3tトラックと資材置場に駐車した2tトラックを入れ替えようと、被災者は3tトラックを運転して資材置場に駐車後、2tトラックに乗り替えて資材置場内を運転中、3tトラックが資材置場内のコンテナ方向に後退し始めたため、運転中のトラックを降りて3tトラックの進行方向に入って止めようとしたが止まらず、トラック後部とコンテナの間に身体を挟まれたものの。
5	令和6年 3 月	食料品製造業	運転者	男	65	18年	墜落・転落	建築物・構築物	事業場の資材置場にて、被災者と同僚労働者の2名でトラック(最大積載量1.35t)に荷物を積み込む作業を行っていたところ、被災者がトラックパースから墜落し、61cm下のアスファルト地面に頭部を打ち付けたものの。
6	令和6年 4 月	食料品製造業	作業員	女	70	17年	はさまれ・巻き込まれ	エレベータ、リフト	被災者は、工場の2階倉庫で梱包資材を荷物用リフトに載せて1階工場に下ろす作業を行っていたが、被災者が1階に戻ってこないことを不審に思った同僚が2階倉庫を確認したところ、当該リフトと2階床面との間に上半身が挟まれた状態の被災者を発見したものの。
7	令和6年 4 月	土木工事業	運転者	男	61	12年	飛来・落下	木材、竹材	造材されたスギ丸太をトラックで運搬するため、被災者及び1次下請労働者1名がそれぞれフォワーダ及びプロセッサを用いて積み込み作業を行っていたところ、積み込みしていたスギ丸太(重量約270kg、長さ3.82m)が被災者側に落ちて負傷したものの。
8	令和6年 4 月	農業	作業員	男	74	4年	はさまれ・巻き込まれ	その他の一般動力機械	被災者はビニールハウス内の土を一人で耕していたが、ビニールハウス内で、農業用トラクター(歩行型)とビニールハウスの骨組みに挟まれている被災者を近隣の作業員が発見したものの。
9	令和6年 5 月	木材伐出業	作業員	男	47	10年	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	出社後、現場に向かうため軽ワゴン車を運転して県道を走行中、軽ワゴン車が横転して炎上し、車内の後部で被災した状態で発見されたものの。
10	令和6年 5 月	土木工事業	作業員	男	73	20年	転倒	掘削用機械	災害復旧工事現場にて、被災者がクレーン機能付きドラグショベル(バケット容量0.14m <sup>3</sup> )を操作して木製の型枠を吊り上げた状態で運んでいたところ、傾斜約20度の下り斜面でドラグショベルが前方に転倒し、被災者の頭部がドラグショベルのヘッドガード支柱と地面に挟まれたものの。
11	令和6年 6 月	窯業土石製品製造業	運転者	男	66	40年	破裂	トラック	粉状のセメントを粉粒体運搬車で配送先に運搬後、配送先のサイロにセメントを供給するため、粉粒体運搬車のタンクに圧縮空気を入れていたところ、当該タンクが破裂し、破裂によってタンク上部から外側に開いた胴板が、粉粒体運搬車の左側面で作業を行っていた被災者に激突したものの。
12	令和6年 7 月	その他の事業	技術者	男	41	16年	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	廃棄物処理施設新設現場にて、被災者は午後2時頃から施設内で性能試験を行うためのサンプリング作業を開始し、午後4時40分からは不織布の保護衣、防じんマスクを着用して、約1時間かけてごみのサンプリング作業を終えたところ、体調が悪化し、ろれつが回らなくなったため救急車で病院へ搬送された。同日午後9時13分、搬送先の病院で熱中症により死亡した。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
13	令和6年 9 月	土木工事業	作業員	男	60	20年	はさまれ・巻き込まれ	掘削用機械	橋台の基礎部分を建設するため、直径2.0mの円柱状の立坑を掘削する作業を行っていた。ドラグ・ショベル(バケット容量0.01m <sup>3</sup> )を坑内に下ろし、被災者は当該ドラグ・ショベルを運転して床掘等を一人で行っていましたが、現場を確認しに来た元請現場員が、深さ約2.7mの立坑内でドラグ・ショベル運転席のバーと土留め用のライナープレート間に左腕、胸部を挟まれている被災者を発見したものの。
14	令和6年 10 月	港湾荷役業	作業員	女	79	8年	激突され	フォークリフト	漁港内において、水揚げされた魚の選別作業を行うため魚を仕分けする選別台に向かって歩いていた被災者が、漁港内を前進で走行してきたフォークリフト(最大荷重2.5t)に激突され、死亡したものの。
15	令和6年 10 月	土木工事業	作業員	男	43	24年	墜落・転落	掘削用機械	被災者がドラグ・ショベル(バケット容量1.4m <sup>3</sup> )を用いて掘削箇所の法面整形作業を行っていたところ、当該作業箇所のすぐ近くに設けられた釜場(雨水等を溜める穴で、大きさ約13m四方、深さ約4m)にドラグ・ショベルごと転落し、降雨等の影響で満水となっていた釜場内で溺死したものの。